



中国映画大観

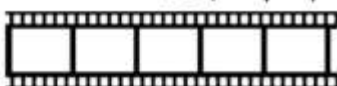
2004年の「中国映画の全貌」で上巻された中国映画は48作品。期間中にフリーバ

連載の開始にあたって…日本人が失った世界との出会い

読者の皆様におかれましては、ちょっと変わった中国映画の世界に入っていたとき、その評価を楽しんでいただけではないと思います。

私が映画評論を書こうと思ったのは、「イングリッシュ・ベイシメント」(1988年)というアメリカ映画を観たのがきっかけです。せっかくの感動を書き残そう、知り合いにも伝えようと思ったのです。そのようにして私なりの映画評論を始めました。ただその頃は、中国映画はあ

熱血弁護士 坂和章平



中国映画を語る(1)



川賀、同年に日本不動産学会「実務者賞」受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会

(さかひ・しょうへい) 1949年1月愛媛県松山市生まれ、大阪大学法学部卒、都市開発に携わる訴訟を数多く手がけ、2001年に日本都市計画学会「石川賞」を受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会



黄色い大地

出演：陳白、王学圻
監督：陳凱歌
製作年：1984年
DVD販売元：レントラックジャパン
発売日：2004年

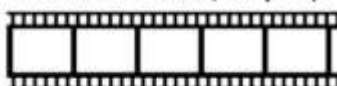
またミュージカル映画のような趣があり、延安で太鼓や鐘を打ち鳴らしながら踊り歌われる強烈なリズムと、父親が順青との別れの目になってやっと歌う切々とした民謡との対比も深い余韻を残す。

第五世代監督の旗手である陳凱歌が1984年に監督デビューし、世界に衝撃を与えた最も有名な作品で、85年にロカルノ国際映画祭で銀豹賞を受賞し、「中国映画のニューウェーブここにあり」と世界に知らしめた。

貧しい田舎娘と文芸隊員の心の交流

事を手伝ったり、男のクセに計仕事までこなす新しい時代をイメージする魅力的な男性で、男女が平等で恋愛も自由な延安の様子を順青に熱く語らう。しかし現実には厳しく父親は順青に対し、少し年寄りが、安心できるという男の家に嫁ぐように命をかける。延安に戻る順青は、順青は自分も八路軍に入る決心を伝え、順青は順青が約束したままに、この映画は中国の田舎の貧しさが大きなテーマ。百姓の父親が語る長年続いていた田舎の習慣や、「食えなければ愛情も関係ない」という言葉、共産党はそんな貧しさから人々を解放するのだと語る順青の理想にも十分な説得力がある。

熱血弁護士 坂和章平



中国映画を語る(2)



川賀、同年に日本不動産学会「実務者賞」受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会

(さかひ・しょうへい) 1949年1月愛媛県松山市生まれ、大阪大学法学部卒、都市開発に携わる訴訟を数多く手がけ、2001年に日本都市計画学会「石川賞」を受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会



生きる

原題：生きる
出演：高橋英樹、笠原弘子
監督：渡辺 肇
製作年：1994年
DVD販売元：ハビネット・ピクチャーズ
発売年：2003年
時間：131分

息子の有慶が亡くなるストーリーには家珍が作るギョウザが一枚買っている。その内容は映画を観てのお楽しみに。

1940年、60年代の激動の中国で生き抜く夫婦を描いた、張芸謀監督の感動的な作品。カンヌ映画祭で審査員特別賞と主演男優賞を受賞(2003年)。朝日ベスト映画祭(朝日新聞社ほか主催)の外国映画部門でも2位に輝いた。

激動の中国が生きる夫婦が示す人間の価値

「息子の名前は何だ？」と聞く福貴に対して、「不語」と答える家珍。観客から思わず笑いがもれる、いいシーンだ。影絵芝居巡業の旅を続ける福貴は国民党の部隊に捕われ、その部隊を手伝わされる羽目に。しかし、この部隊は共産軍に攻撃され、今度は共産軍の兵士達に影絵芝居を見せることを。国共内戦の中でも、影絵芝居が福貴の命を守ってくれたのだ。福貴が命からがら家珍の元へ帰ると、福貴から家珍を取りあげリッチな生活を楽しんでいたはずの福貴が地主階級と認定され、公開処刑を受ける姿を見ることになる。もしバクチに勝つと地主階級のままであったら、「人間万事塞翁が馬」を感じさせられる。

熱血弁護士 坂和章平



中国映画を語る(3)



川賀、同年に日本不動産学会「実務者賞」受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会

(さかひ・しょうへい) 1949年1月愛媛県松山市生まれ、大阪大学法学部卒、都市開発に携わる訴訟を数多く手がけ、2001年に日本都市計画学会「石川賞」を受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会



山の郵便配達

原題：山、那人、那狗
出演：陳凱歌、劉燦
監督：陳凱歌
製作年：1999年
DVD販売元：東宝東和
発売年：2002年
時間：93分

改革・開放政策が進む中、中国でも映画に描かれたような、素朴な人間関係や情景は、次第に失われていくだろう。だからこそ心に残しておきたいと思ふ、美しい作品である。

1980年代初め、中国・湖南省の山村で、集落から集落へ手紙を届ける郵便配達員の物語である。当時の郵便配達員は、郵便物を入れた重たいリュックを背負って、険しい山道を歩き配っていくものだった。長年、この辛い仕事を続けてきた父親(開放政策)は、足が悪くなり、遂に仕事を息子(劉燦)に譲ろうと決心する。そして最後の2泊3日の配達を、息子と、これも長年一緒だった「次男坊」という名の愛犬と共に出発する。息子は大人になるまで、留守がちの父と接する機会が少なく、困難を感じ、弱がってさえたが、父親と一緒に山道を歩き、各集落で温かく迎えられる父親の姿を見る中で、しだいに

素朴な人々と美しい風景が心にしみる作品

父への尊敬の念を強めていく。息子は素朴な父親を支えながら自分を育ててくれた母親の姿を、ある集落で出会った美しい娘に見いだす。また、息子に背負われ川を渡る中、父は大きくなった息子のことを身体に感じ、ついに涙ぐむことも。短い作品だが、山の郵便配達という仕事を軸として、父と息子、父と母、母と息子の気持ちの動きを追い、美しい山の中、静かに生きる中国人たちの素朴さ、そして、自然の美しさと厳しさに、なだ、た率直に感動する。

熱血弁護士 坂和章平



中国映画を語る(4)



川賀、同年に日本不動産学会「実務者賞」受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会

(さかひ・しょうへい) 1949年1月愛媛県松山市生まれ、大阪大学法学部卒、都市開発に携わる訴訟を数多く手がけ、2001年に日本都市計画学会「石川賞」を受賞、「坂和章平」中国映画大観、社会派熱血弁護士中国映画大観、SHOW・HEY・シネマール(2004年)は、はじめ映画に携わる者多数、NPO大阪府日中友好協会

原題：我的兄弟姐妹
監督：衝鋒
制作：2001 年
DVD 販売元：ジョ
ネオン エンタテイン
メント（2004 年
発売）
時間：95 分

再会をテーマとした名作は多いが、この映画は中国でしかつくることができないストーリーリと言え、2001年に中国で公開される、大反響を呼んだ。

映画は、アメリカで抱腹者として大成功し、すらりとした清楚なお嬢様風の美人音楽家に成長した、主人公スーティエンの回を通し、現在進行中のストーリーと、20年前の思い出が交互に描かれる。スーティエンを演じる張曼玉・リョウは香港映画界きっての美人スターだ。

映画は彼女が、20年前に旧旅順国し、北京空海に降り立つところからスタートする。スーティエンにはコンサートが持ち受けているが、実は生き別れた3人の兄弟を捜し出し、再会するという大きな目的があった。

兄弟と生き別れたのは、戦の時。音楽教師だった父（重健）

热血并战士
坂和章平

中国映画を語る(5)



（左から、しゅうへい）
1949年1月愛媛県松山市生まれ、大阪大学法学部卒。都市開発に関わる新設企業数多く手がけ、日本都市計画学会、石川寛一、岡本に日本不動産学会「新築」作業員を受賞。昭和の中国崩壊大戦（2004年）、デューク・オヤン・ワンの「シリース」をはじめ、映画に関する書籍多数。NPO大徳財団中国友好会会員。

原題:芙蓉鎮
 出演:劉曉慶、姜文
 監督:謝晉
 製作年:1987年
 DVD販売元:紀伊
 國屋書店(2006
 年発売)
 時間:164分

中国の黒澤明といわれる謝晋と姜文と劉曉慶のコンビによる『天若有情』は1988年、日本でも大ヒットした。反右派闘争や文革の奥に翻弄されながら生き続ける人間の姿を痛く必死の中国映画といえる。

米豆腐食卓の若奥様として夫と共に勤儉に働いていた胡玉蓉（劉曉慶）は、近所でも大人気だ。それにひきかえ秦蘭田（姜文）は右派分子と認定され、「労働改造」に服している。しかし、働き者で美人の胡玉蓉は、ひまみ目の女たちからみると気に入らない存在。その一人が、国営食卓を営んでいた李国富（陳松子）。そんな不満がピークに達したのは、胡玉蓉が自宅を新築し盛大な披露パーティーを開いた時。政治工作部長に出席

熱血并護士
坂和章平

中国映画を語る(6)



「平和的中国を描く大綱」(2004年)、「ナニワのオタクのチャーン井蓮太、松西を語る」シリーズをはじめ数冊の著書に『中国に関する著書多数』。NPO大阪府・日本中韓協会会長。

原題：
遺折 / Judge
監督：新藤
出演：倪大红、奇道、
宋迎春、高群書
制作：2009 年
DVD 販売元：ジュー
ダス（2011 年発
売）
時間：97 分

長い間一人治」が支配していた中国では、刑事裁判は日本や西欧のそれとは全く異なるものだった。映画とは便利なものでも本作を覗れば、少なくとも1987年当時の中国の刑法(窃盗罪)と死刑の関係をしっかりと勉強することができる。

本作の舞台は中国北部の河北省涿州市という小さな田舎町。裁判官ティエン(配大杜)の指揮下、今開廷しているのは、自動車2台を盗んだという被告人チウ・ウー(奇道)の窃盗被告事件で、ティエンを裁判長とした裁判委員会の「合議」の様子が見味深い。日本では窃盗罪だ法定刑は「10年以下の懲役」だが、中国では死刑があるというから驚きだ。もちろんチウ・ウーが裁かれているのは新たに施行される新刑法との狭間らしい。さらにビックリしたのは、担

熱血弁護士
坂和章平

中国映画を語る ⑦



『平和的中国電影大観』（2004年）、
「シャーン井藤士」映画を転写し、シリ
ズを始める。『シリズ』をはじめ映画
に関する著書多数。NPO大阪府日中友好委員会。



（右）吉川和子

当裁判官は、判決についての意見を裁判委員会に提出するだけで、判決を決定する権限は与えられていないというところ。中二台を認め死刑になった青年のニュースをもとにつくられた映画だが、刑法改正の狭間で悩みながらも死刑判決を下した裁判官と死刑を宣告された被告人との葛藤の側、その死刑囚からの腎臓移植を願う市の有力者リー社長というストーリーの軸を設定したが、本作を脚本・監督した劉傑の工夫だ。本作にみる腎臓移植の問題点はいかにも中国法のものになっている。

新刑法が施行されるのは10月1日だから、高裁での控訴を棄却する旨の判決の言渡しは9月29日。死刑執行がされる河原には腎臓を取り出すべく医師団が待機しているし、病院の手術室にはリー社長がスタンバイ。

原題：天下無賊
(A WORLD WITHOUT THIEVES)
監督：馮小剛
制作年：2004年
DVD販売元：ア
ミューズソフトエ
ンタテインメント
(2007年発売)
時間：116分

「中国の山田洋次監督」と評はれる清小川監督特有の人間に対する温かい視点が味わえ、性根強と性風流を兼ねさせられる人生哲学がツブリの作品。2005年の正月映画として、ナンバーワンのヒットを記録した。チベット鉄道（青藏鉄道）の車内という閉鎖された空間で、一匹狼のスリと窃盗集団、そして警官を向けた三つ巴の戦いが展開される。主役は香港のスーパースター劉德華。彼が演ずる王薄は詐欺やスリ家業で生きる悪党だが、その悪党の本性が実は……というのが、いつも人間に対して温かい目を注ぐ清監督がこの映画で描くポイントだ。王薄と行動を共にする恋人王麗を演ずるのは台湾の歌手兼女優の劉若英（ジェニ・リン）。物語は王麗が「記憶棒筆から星を洗いたい」と突然言い始めたところからスタートする。なぜ急に？

熱血并護士
坂和章平

中国映画を語る (8)



（さかへ、しょうへい）
1949年1月愛媛県松山市生まれ。大阪大学造学部卒業。都市開発に関わる訴訟を数多く手がけ、日本都市計画学会（石川眞一）・同日本不動産学会（栗林啓作）を主宰。

『坂和の中國電影大観』（2004年）ナニワのオン・チャン井雄史、技師を斬る！ シリーズをはじめ映画『新・日本書紀』、『NPOとまち』で反社会主義者。

他方、窃盗集團の大ボス・明恵（葛原）の傍に付き添っている美女小唄を問うるのは李冰冰。さらに映画を獲れて面白いうのにしているのが、人を疑うことを知らない青年シャーケン（王聖武）と、酸いも甘いもかみ分ける度胸をもつ警察官（憲張子）だ。結婚資金6万円（約100万円）を持っているシャーケンがそれを人混みで口にしてしまい、これを狙って王明恵と胡黎が動き始めるのが映画の基本ストーリーになる。

「列車毛」は「潜水艇毛」と同じく密閉された空間という制約があるため、吾達々々人間の本性が露出してくる。それぞれのキャラクターとツボをおさえたストーリーゴブンは、「さすがに黒小期監督！」と思える出来た。魅力的なキャラが知力と秘術の限りを逞して6万円と秘術の攻防戦を展開するのだから

のオールドリー・ヘップバーンの再来かと思うほど可愛くて魅力的。流れ役から殺陣担当、衣装撃つまでの重要な役まで魅力的こなし、映画の中で彼女のつウエイトは非常に大きかった。実に充実した2時間だった。

清帝国は圧倒的な軍事力で福建省を攻撃、必死の抵抗をむくして国姓軍は敗退し、海を失った。以後「耿精忠」の苦言をまねながら軍事力をなくして、台湾の解放を目指した。そして10数年後、万全の守を固める台湾のオランダ軍にしろ60隻の大船団で総攻撃をかけ、遂に台湾を解放した。に1681年。そして国姓軍は、翌1682年再侵した。後半のハイライトである大団による台湾攻撃の戦艦シーは砲力がある。中国人がオランダと戦い、死闘の末に台湾を回復したというストーリーはヨーロッパに受け継がれてきた。ヨーロッパにとっては前代未聞のジャパにとっては前代未聞の戦艦と、日本で併呑されたり船に受け入れられたものも散見する。私共はこの作品で注目した点のうち一つ、国姓軍の義理の妹

「昭和の中心運動家大塚」の2004年7月にオッチ
井澤大、講演を聴く。シリーズを始める。大塚大学
の講演を聴く。NPO法人大塚の日中友好委員会
の講演を聴く。NPO法人大塚の日中友好委員会

下、雪華と玲玲、小兵たち
かに生きてきたのか？ 映
通じた人間模様が女性観劇
によって情感豊かにつづら
いる。心温まる物語をじっ
味わってほしい。

い親類と追害の中で産んだ子、玲瑠（要路瑠）を過剰自殺まで快意した雪草だが、アルパニア映画「死す屈せず」の中で刀狩く生き人革命家の姿に感動。女優め、玲瑠とともに強く生きようと決心する。そんな雪草兄守ったのは野外映画館の技術師大任（李順慶）だ。既婚の仕事しながら、この落ち難い生活を取った雪草。そんな中、玲瑠転生の雪が千草（毛玉生）と出合い仲良くなり、2人の躍大の楽しみは貯水水で大好きな映画を観ること。けばどんな映画でも観られ、幸せな時代を過ごす玲瑠だが、誘と結婚した雪草に子が生まれると、さまざま定外な事象が起こる……

「平和の中国電影大観」(2004年)、「ナニの」を
会「芸術作家」を
真、同年に日本
日本都市計画学
の講座を数多く手
学部卒、都市開発
山田生まれ、大福
1949年1月誕生
「たなか・しょう」

を揃えていることはまちがいない。その点の魅力は十分だ。グレイ役の變身も、映画初出遇と思えないほど実にイキイキとじている。マイナーな映画だ。一見の価値がある。

かった。幸主が刑務所に入
 後、グイはヨミーンを頼り、
 ちまちまい仲に。治療費を迫
 れた時も泣き叫んで追返さ
 した。これを見ていたヨミ
 ングイの實態を見抜いたとい
 う。半信半疑だったグイも
 最初の仕事を先輩の哭き女か
 バカにされるや一発奮起、猛
 習に助んだ結果、その後は拒
 が次々と入るようになり。

藍調である劉冰麗氏（1998年）のデビュー作『眼』（1998年）も『男男女女』（99年）も中国では上流階級が下りなかったこれらの映画が中国の民族色閉塞的な姿を濃厚に打ち出し、同性愛を描いたため、その傾向はこの『涙女』でも顕著だが本作もカンヌをはじめ数多く映画祭に出品されたが、中国土では上映されていない。

私は、張藝謀や陳凱歌の作ほど魅力があるとは思わな

(つむぎ、しんがへい)
1949年1月、富山県
山市生まれ。大阪大学
学部卒。都市開発に関
する講演を数多く手がけ
る。日本都市計画学会「石
川賞」、同日本土木建
築会「高橋作徳賞」を受賞。
2004年、「フミのオ
アシ」并譯文、映画を新書に
出版する活動多岐。NPO法
人振和の中国事業大副

代表理事を務める。

だが、とにかく疲れた
あ、しんどー」のひと言が
鑑賞後の充実感はずっぷり
して考えさせられる課題
だった。もっともっと勉強
ければと痛感させられた……

「労働者」では、
 苦しむ鉄西区の3つの工場の
 落しこめ様子を、「第
 一」では労働者住宅に住
 居の若者たちを追ひ、「
 第二」は工場を結ぶ
 貨物鉄道の衰退を検証する
 第二部の大きなテーマは
 開港」と言えるが、それは
 された法制裏に基づくもの
 なく、極めて大雑把かつ確
 なものである。当時の一
 方に口懸いづつ、これに従
 るをえない労働者たち。労
 住宅をめぐる再開港の模
 都出問題を勃発している
 とって、非常にショック
 映像だった。

夜10時40分から翌朝の8
 分まで、休館を含んで10時
 わたってオールナイト上
 た。観客席は満席で、間違
 をもった映画ファンがたく
 といふところまで満ちて
 いる。

「平和的中国電影大賞」(2004年)、ナニワの「チャン・イー・ワン」シリーズをはじめ、数々の映画に出演する著名俳優、NPO法人大阪府中友好協会に所属する。